

第3学年 学級活動 活動内容(2)学習指導案

日 時 10月16日(木) 6校時
学 級 第3学年3組(28名)
指導者 担任 鈴木 可奈子
日本歯科大学生命歯学部教授 福田雅臣先生

- 1 題材名 「歯の一生」～今の自分にできること～
学級活動 活動内容(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全
(カ) 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 題材設定の理由

全ての児童が歯の生え替わりに差し掛かっている。本学級では、保護者の歯に対する意識の高さも感じられ、むし歯のある児童は非常に少ない。しかし、子ども自身は、今生えてきている歯が一生のものであり、自分自身で大切にしていかななくてはならないという意識はまだ低い。

そこで、乳歯から永久歯への転換期である今だからこそ、もっと自分自身の歯・口への関心を高めさせたいと考えた。今生えてきている歯は、これから先もずっと付き合っていくものであり、食生活をはじめ、自分のこれからの生き方に大きく関わってくるものであるということに気付かせたい。そして、今の自分の歯・口の変化も含めた「歯の一生」を知り、将来を見通してみることで、歯みがきや咀嚼、食生活の改善など、今の自分にできる健康行動を選択し、実践しようとする意識を高めたいと考え、本題材を設定した。

3 他教科等との関連

体育科による保健領域 「毎日の生活と健康」
特別活動 学校行事 健康安全・体育的行事 「歯科検診」「歯の染め出し」

4 研究主題との関連

(1) 学級活動(健康・安全教育)で目指す児童像

【心】 互いの違いやよさを理解し、よりよい関わりができる子

【体】 自らの生活を見つめ、よりよい健康づくりを実践しようとする子

(2) 研究主題(児童像)に迫るための手立て

【心】 互いの違いやよさを理解し、よりよい関わりができる子に迫るために

○小集団グループの活用

グループで歯・口の中を見合ったり、情報を交換し合ったりすることにより、互いの体や成長などの同じところや違うところに具体的に気付くことができる。それに気付き、一緒に学び考えるからこそ、互いによりよく成長していこうとすることができると思う。

【体】 自らの生活を見つめ、よりよい健康づくりを実践しようとする子に迫るために

○インタビュー活動の挿入

歯の一生を単に知識として習得するのではなく、より身近に、自分のこととして捉えることができるよう、自分の周りの人へのインタビュー活動を取り入れた。実際の話の直に聞くことにより、児童は自分に重ねて歯の一生を考えたり、理解したりすることができ、実感として自分の体や成長について考えることができる。

○スローガンづくりによる実践

歯科医の話聞くことで、具体的な自分の目指す歯・口の環境を思い描き、今自分にできることを自分の覚えやすい言葉でまとめる。そうすることで、いつでも思い出して考えられるようになり、学んだことや今の気持ちが、生涯を通じた実践的な力としてつながっていくと考える。

5 本時の学習

(1) ねらい

歯の一生と食べることとの関わりに気付き、生涯を通じた歯・口の健康づくりの意識を高めることができる。

(2) 展開

児童の活動	主な発問及び児童の反応	○指導上の留意点・支援 ●評価
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <p>2 インタビューを発表し、歯の一生を捉える。</p> <p>3 歯科医から歯の一生と食べ方の変化について話を聞く。</p>	<p>みんなのインタビューをもとに、歯の一生について考えていきましょう。</p> <p>調べてきたことをステージごとに発表しましょう。</p> <p>C 生まれた時は歯がない。 C 初めて歯が生え替わったのは、1年生だった。 C おじいちゃんはいれ歯だ。</p> <p>歯の変化に伴って、食べ方も変化していきます。歯科医の先生の話をお聞きしましょう。</p>	<p>○インタビューカードを黒板に貼り、6ステージ全体の変化を捉えやすくする。</p> <p>○各ステージの変化の特徴がわかりやすい資料を提示する。</p>
<p>4 歯の一生と食べることとの関わりを、リンゴの食べ方を例に考える。</p>	<p>歯の一生の変化に伴って、食べることにも影響はあるでしょうか。各ステージにおすすめのリンゴの食べ方を考えてみましょう。</p>	<p>○すりおろし、皮付き、薄切り、八つ切り、四つ切り、一口大の6種類の切り方をしたリンゴを用意することで、グループで理由を考えやすくする。</p>
<p>5 歯科医から、歯を一生大切にするための話を聞く。</p>	<p>C 私たちは歯の成長途中だから歯を丈夫にするために皮付きや四つ切りがいい。 C 歯があまり生えていない乳児はすり下ろしがいい。 C お年寄りもすりおろしがいいけど、歯が丈夫な人は薄切りや一口大でもいい。</p> <p>歯・口の状態は一生の中で変化します。その時々状態に合った食べ方やケアの仕方があります。将来の自分の歯のために、今できることをしっかりと行いましょう。正しい歯みがきをしっかりとすること、よく噛んで食べ、丈夫な歯をつくっていくことが大切です。</p>	<p>●歯の一生の変化をもとに、おすすめの食べ方を考えている。</p> <p>○「噛むこと」「歯磨き」「食べること」をキーワードとして、児童が意識を高められるようにする。</p>
<p>6 学習を振り返り、自分の歯を一生大切に使うための「歯・口の健康スローガン」を考える。</p>	<p>みなさんは将来どんな歯でいたいですか。そのために、今どんなことをやっていますか。自分の歯のスローガンを考えましょう。</p> <p>C 奥歯まで丁寧に歯みがきをする。 C 食事の後には歯みがきを忘れない。 C よく噛んで食べて、歯を丈夫にする。 C 三食をしっかりと食べる。 C 検診を必ず受ける。</p>	<p>●これまでの学習をもとに、将来の歯・口のための自分のスローガンを考えている。</p> <p>○できたスローガンを家に貼っておき、今日から実践していけるように促す。</p>